

昭和 43 年 10 月 1 日

発行所

山武郡横芝町横芝636番地
横芝町役場
電話 04798-2-1111(代)
郵便番号 289-17



広報

横芝

横芝町の人口と世帯

< 8月31日 現在 >

常住人口	11,785人
男	5,547人
女	6,238人
世帯数	2,771戸



秋の交通安全運動 飲酒運転、絶滅へ

十月十一日から実施

増加の一途をたどる交通事故の発生にブレーキをかけるため、ことしも十月十一日から二十日までの十日間、全国一せいに秋の交通安全運動が実施されます。

最近の交通事故の原因をみますと、運転者側に責任のあるものでは、先ず第一に全事故の約一〇%を占めている酒飲み運転事故。ドライバーは酒のみ運転が違法であり、危険であることを厳しく認識し

酒を飲んだらハンドルをにぎらない
という鉄則を厳格にまもり、家族の方や友人知人なども、これくらいならという安易な気持ちで、運転者に酒をすすめないようにしたいものです。

次に多いのは、無理な追越しによる事故で全事故の約八%を占めています。追越しをするときは交通環境と、前車後車に充分注意して、安全をはっきりと確認してから行動に移るべきで、見とおしのきかない曲り角や交差点での追越しは自殺行為にひとしいものです。

このほかスピードの出しすぎや過労運転による事故が多発しています。

また、歩行者側に責任のあるものには、急に道路にとび出した車の直前直後を横断した幼児のひとりあなどが歩行者事故

約三分の二を占めています。交通安全の教育は家庭からといわれているように、交通安全について家庭で話しあいをし、事故の犠牲者を一人でも少くするようにしたいものです。

八月まで、横芝の事故四七、死者六

成東警察署管内では

1、歩行者の正しい横断の励行

2、子供の交通安全の確保

3、飲酒運転、無免許運転の追放

4、無理な追越しの禁止

を重点目標として関係機関や団体を中心に、住民ぐるみの安全運動が展開されます。

成東署管内の本年一月から八月末までの事故発生状況を

見ますと、事故は二八八件（昨年同期三三二件）発生、死亡者十七名（六名）、うち十四名もが酒酔運転による事故で尊い命を失っています。

横芝町で発生した事故は四十七件、死亡者六名（昨年同期ゼロ）で、成東署管内死亡者の三分の一を占めていることはまことに不名誉で歎かましいことです。パイパスの全面開通による結果ではありましようが、上堺方面県道でも七件、大総方面県道で二件が発生しているのも見のがせません。

交通事故の防止には、いかに名文句の標語を掲げて、どんなに取締りを厳重にしても、運転者歩行者の各人が交通ルールを守り、実行する以外にはないのです。

赤い羽根募金に

正しい理解と協力を

十月一日から例年のとおり赤い羽根共同募金運動が展開されます。

終戦時のわが国は、社会的にも経済的にも深刻な混乱に直面しましたが、民間社会福祉事業界も極度の荒廃にさらされました。この荒廃からの振興をはかるため、昭和二十二年共同募金が創められ今年

で二十二年になります。

この運動の特質は純粋な民間運動であり、国民が相互に助けあう精神を基調とした国民運動で、この運動を通して国民の一人一人が社会福祉活動に参加する尊い意義を持つものです。

社会経済の変動にともなって、社会生活の仕組みがだん

だん複雑になり、社会福祉の増進はますます要請されるところであって、政府においても福祉国家の実現のため、広い範囲の社会福祉施策を推進していますが、これと並行して民間社会福祉事業が果たす役割もいよいよ大きくなってきています。

児童施設や老人ホーム、身障者の施設などで幸うす日々を送っている人たちのために、また私たちの住んでいる町の福祉の向上をはかるために、この運動を正しく理解して協力しましょう。

力を若さえるを国を
陸・海・空
自衛官募集
役場企画課へお問合せ下さい

皆さん！これからは交通安全のルールを厳守して事故の絶滅に、努めましょう。